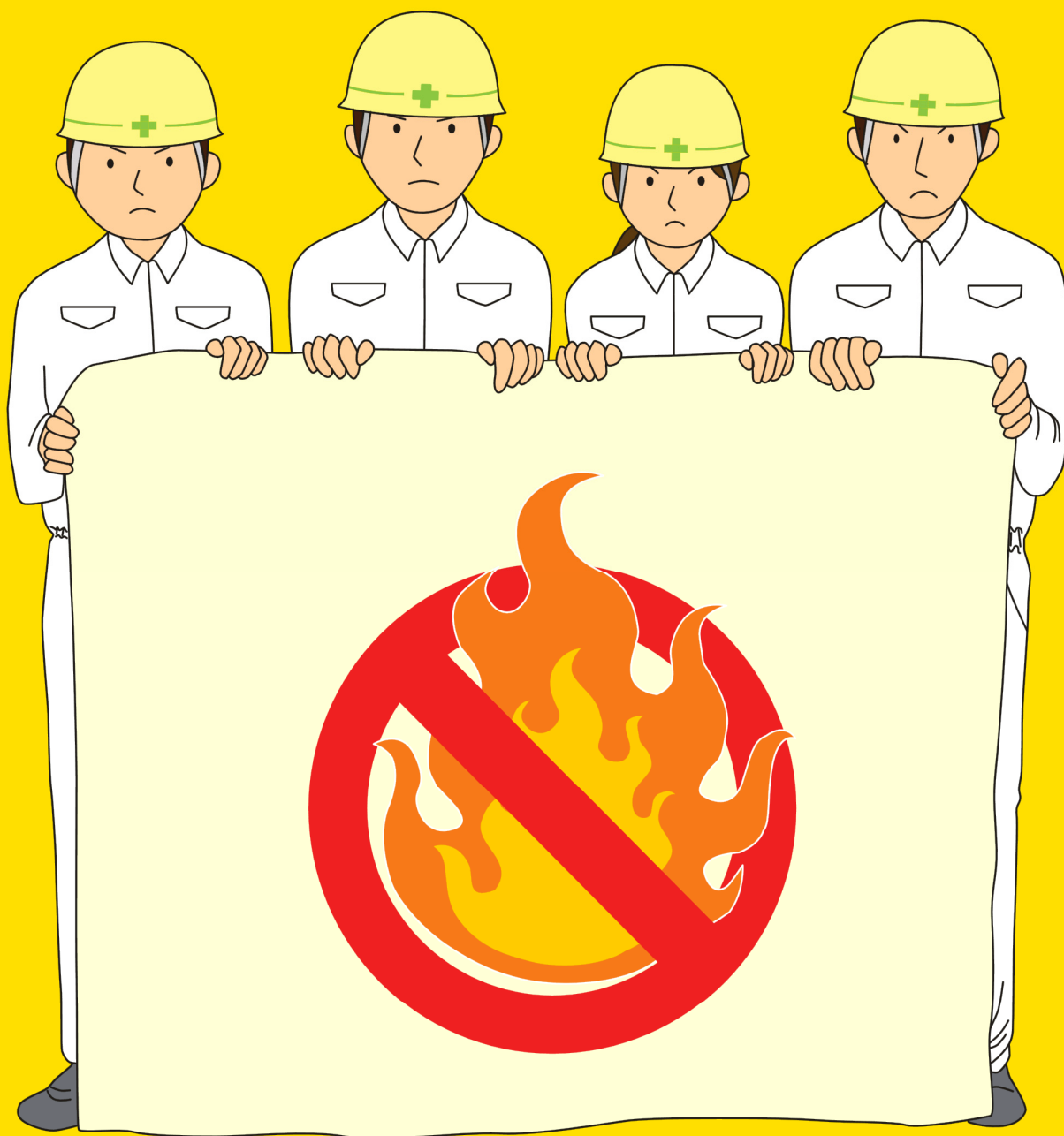


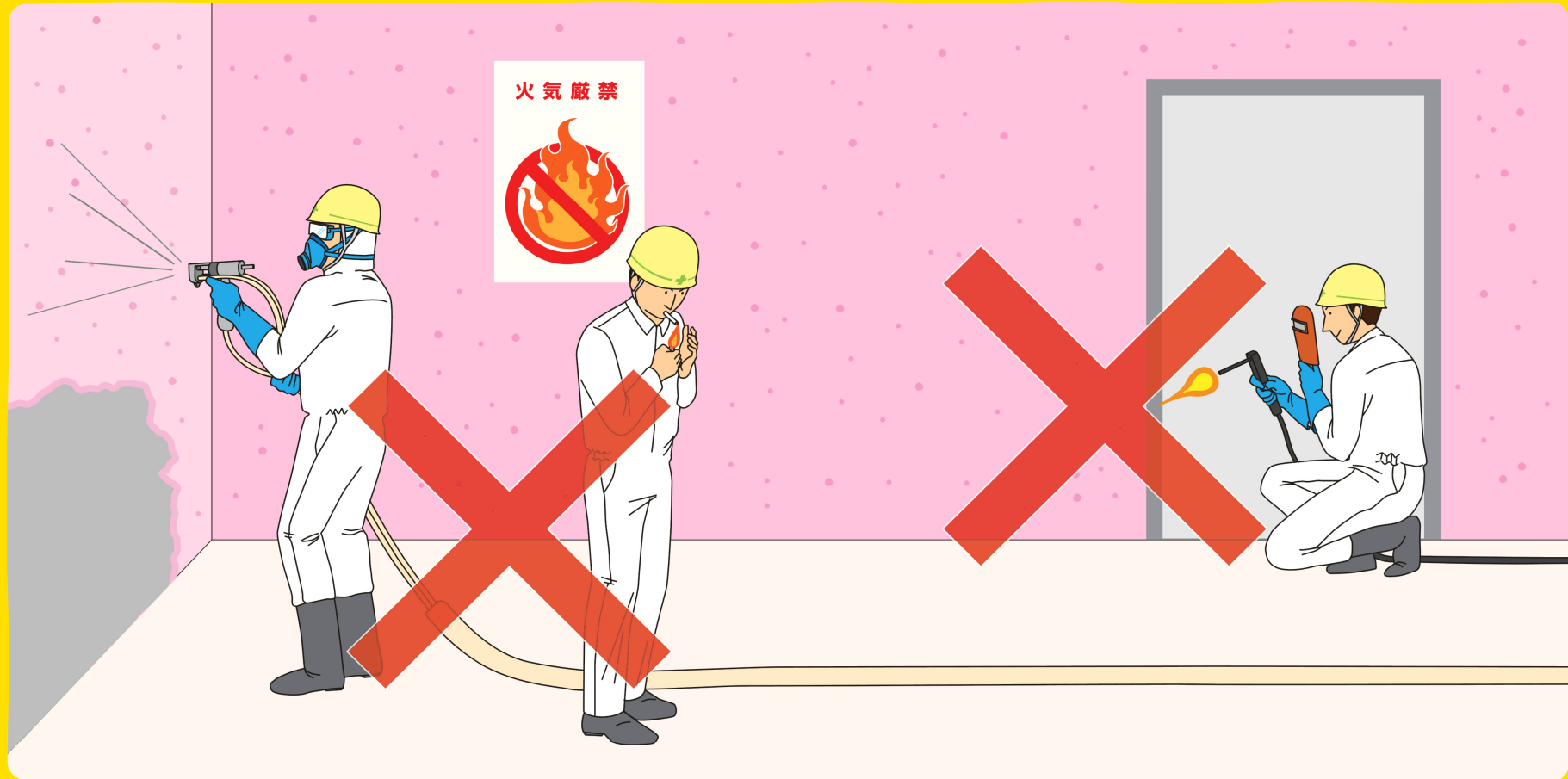
ポリウレタン現場施工 「火災を防ごう！」



日本ウレタン工業協会

施工時火気厳禁

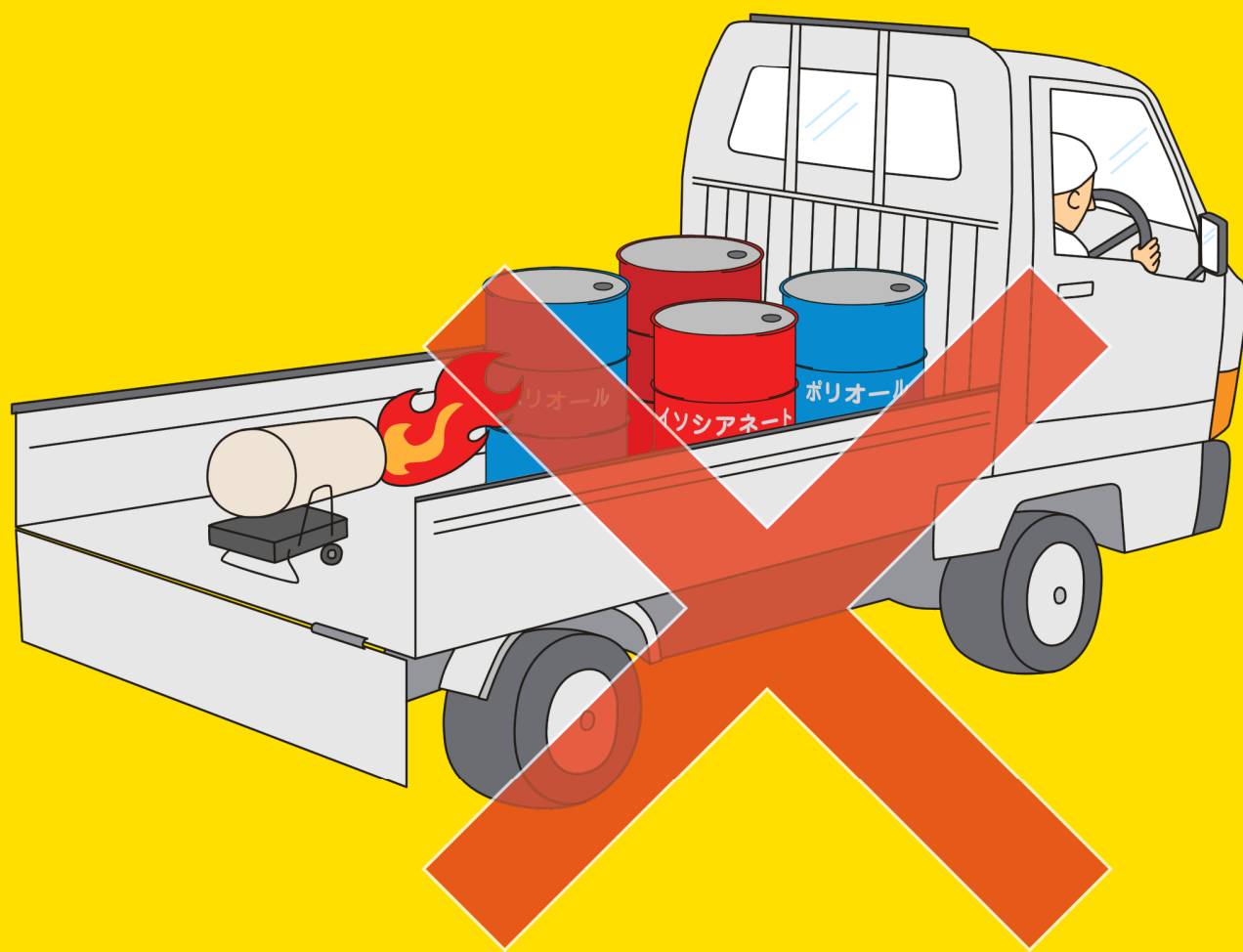
溶接・溶断禁止



- ポリウレタンフォームは可燃物です。
- 硬質ポリウレタン発泡現場には、「火気厳禁」の表示をして下さい。

- 溶接・溶断はスプレー施工前に完了してください。
- やむを得ず溶接・溶断が必要な時は、フォームを取り除いた上で、不燃材料等で遮蔽して下さい。
- 消火器等を準備してください。

原料の直火加熱禁止



● 輸送・保管・使用中の原料をヒーター・ストーブ等による直火で加熱しないで下さい。

※ スプレー原料のイソシアネートは危険物第4類第4石油類に該当する引火性液体です。

貯蔵保管の注意



- 屋外保管時には、雨・直射日光を避けてください。
- 保管場所には「火気厳禁」の表示をして下さい。
- イソシアネートのドラムに水が混入すると発熱したり、ドラム缶が膨らんだり、破裂することがあります。
- ポリオールのドラムに水が混入すると、発熱を伴う異常反応が発生し、正常なフォームが形成されないことがあります。

※イソシアネートは第4類第4石油であり、指定数量(6000ℓ)以上を貯蔵し、取り扱う場合には消防法に基づく許可が必要となります。

吹き付け時の注意



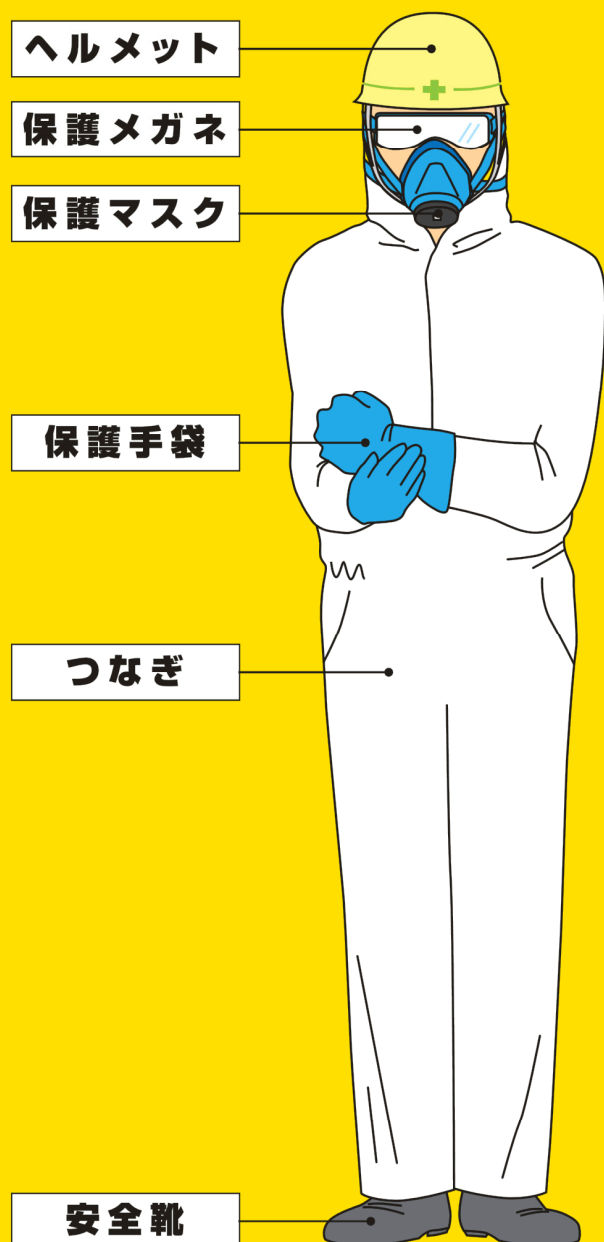
- 大きなかたまりを作ると発熱して発火の恐れがありますので、かたまりは必ず裁断してください。
- テスト吹き等で厚く発泡した場合には、小さくカットして廃棄してください。

廃液処理の注意



- イソシアネートとポリオールを混入しないでください。
- イソシアネートとポリオールを混ぜると発熱したり、容器が膨らんだり、破裂することがあります。

保護具を着用して、 安全に作業しましょう！



標準的な吹き付け硬質ウレタンフォーム断熱材の現場施工方法に関しては、日本ウレタン工業協会発行の「硬質ウレタンフォーム断熱材標準施工マニュアル」をご覧ください。

本パンフレットに記載されている情報に関しては万全を期しておりますが、その内容の正確性、安全性及び有効性を保証するものではありません。日本ウレタン工業協会は、本パンフレットを利用される方が、記載されている情報によって被った損害、損失に対して一切の責任を負いません。本パンフレットに記載されている内容に関しては自己の責任で判断し、利用にあたっては、自己の責任で行ってください。

日本ウレタン工業協会

www.urethane-jp.org <<http://www.urethane-jp.org>>

ウレタンフォーム工業会
ウレタン原料工業会

〒105-0003 東京都港区西新橋2-17-1 八雲ビル3階 TEL03(6402)1252
〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-8-25 日総第23ビル304 TEL03(6809)1081